

大学コンソーシアム熊本地域創造部会

「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」

熊本市の地域課題の趣旨説明



熊本市
Kumamoto City

政策局総合政策部政策企画課

2023年6月19日

本日の内容

I 熊本市の取組

II 熊本市の地域課題

III 取組の進め方

市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、

「上質な生活都市」

を、私たちはめざします。

豊かな**自然**と**歴史・文化**に恵まれ、

あたたかい**ふれあい**に満ちた**地域**の中で、

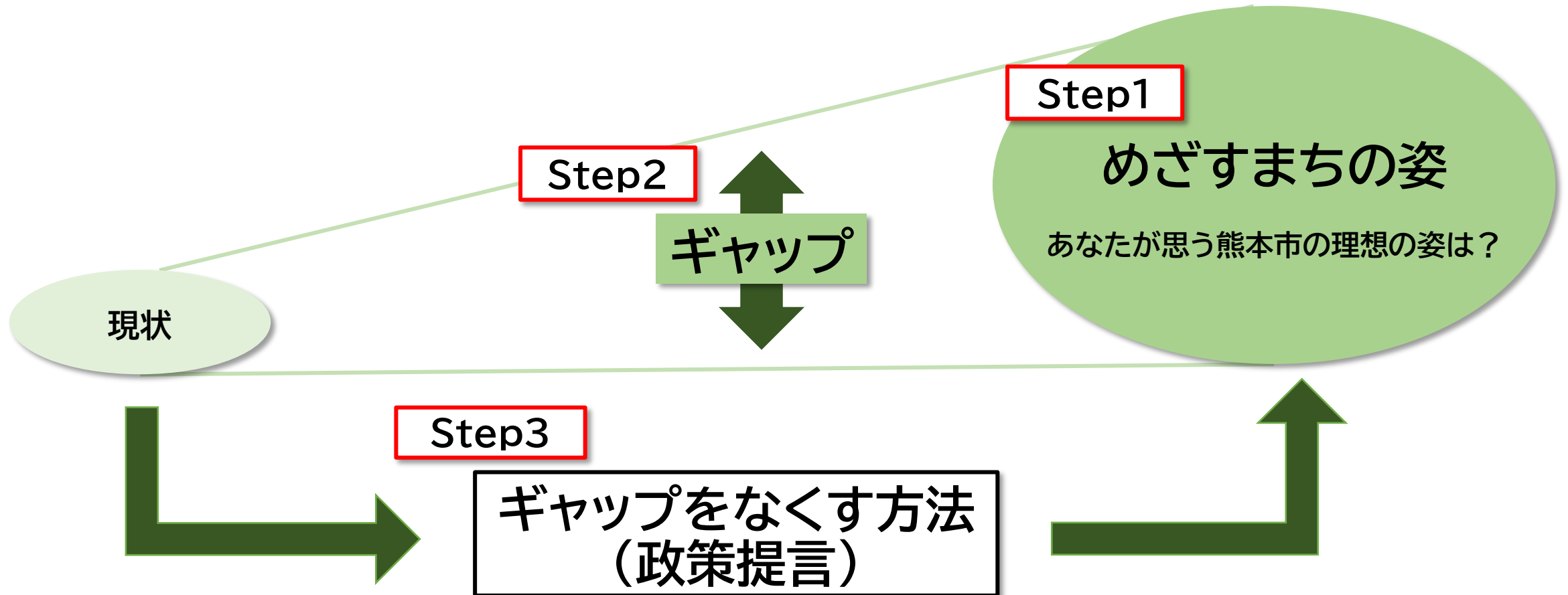
お互いに支え合いながら**心豊か**で**幸せ**な暮らしが営まれ、

災害に強くだれもが**安心して暮らせる**まち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに**誇り**を持ち、**夢**や**希望**を抱いて、

いきいきと**多様**な生活を楽しんでいるまち。

市民一人ひとりの幸福度を高めるためのまちづくりについて



Step1 めざすまちの姿の検討

Q

- 市民が住み続けたい、誰もが住んでみたくなる、訪れたくなるまちとは？
- 市民一人ひとりの幸福度を高めることができる熊本市の理想の姿とは？

A

(例えば…)

- 行きたいところへスムーズに移動できるまち
- ごみのない美しいまち
- 地域のつながりが強いまち

皆さんが思う熊本市の理想の姿を検討してください！

Step2 現状の把握・ギャップの認識

■ 目的

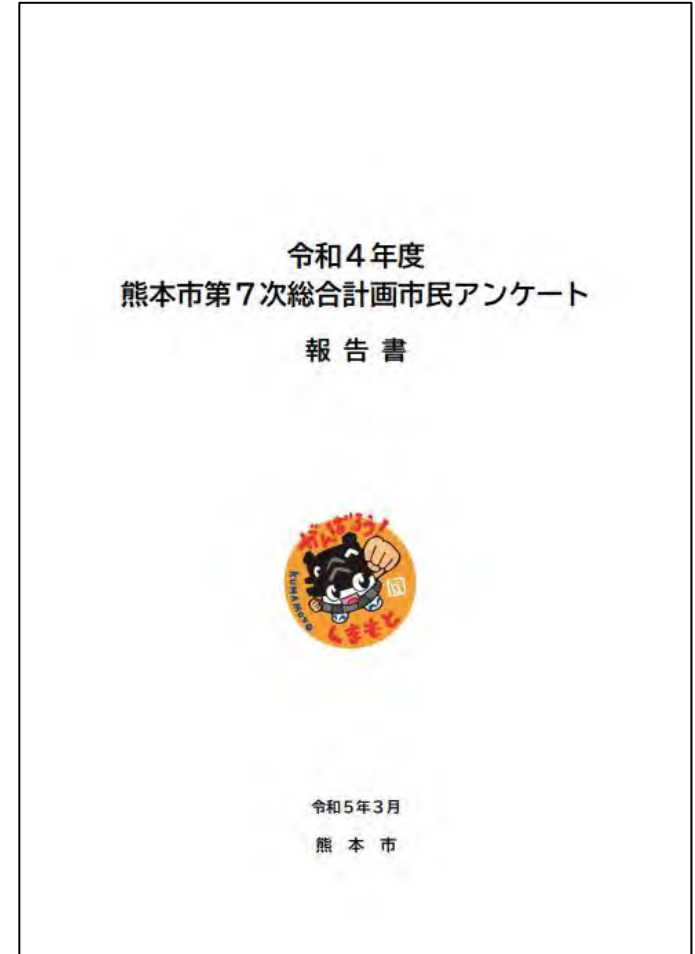
- ・理想の状態と現状にどのようなギャップがあるか把握する
- ・地域が抱える課題を洗い出す

■ 主な手法

- ・市民(地域団体等)へのヒアリング
- ・アンケートの実施
- ・市関係部署からの聞き取り
- ・文献、データ収集

■ 参考

- ・熊本市第7次総合計画市民アンケート

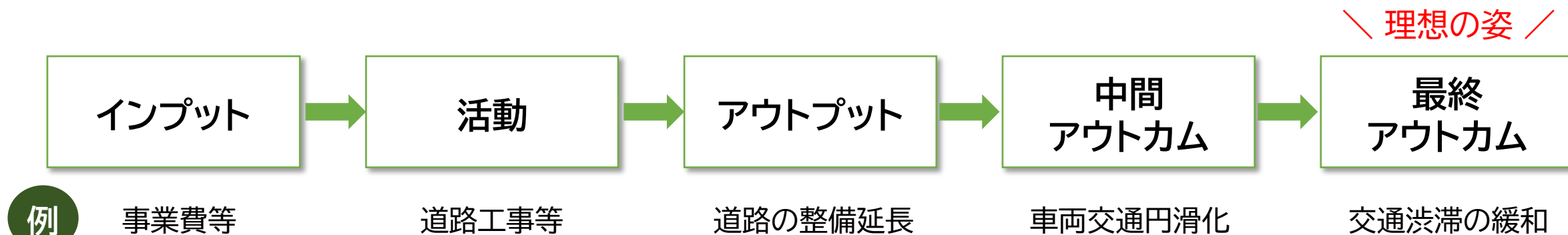


Ⅲ 取組の進め方

Step3 ギャップをなくすためには 「ロジックモデル」を考えてみましょう

ロジックモデルは、事業や組織が最終的に目指す変化・効果(アウトカム)の実現に向けた事業の設計図
→ 立てた対策が解決すべき問題(目的)に対して適切な手段であることを自身で腑に落ちて、かつ第三者が納得できるように説明ができることが必要。

- **インプット**:行政資源(予算額、事業費、従事した人員数、総労働時間など)
- **アウトプット**:行政資源を投入して実施した行政活動の分量
- **アウトカム**:行政活動により実現した成果の分量または質



【 熊本市第7次総合計画・基本計画 】

✓ まちづくりの8つの分野

第1章 互いに認め支え合い、だれもが平等に参画できる社会の実現

第2章 安全で心豊かに暮らせる地域づくりの推進

第3章 生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健福祉の充実

第4章 豊かな人間性と未来へ飛躍できる力を育む教育の振興

第5章 誇るべき良好な自然環境の保全と地球環境問題への積極的な対応

第6章 経済の発展と熊本の魅力の創造・発信

第7章 豊かな自然環境をいかした活力ある農水産業の振興

第8章 安全で利便性が高い都市基盤の充実

- ✓ まちづくりの重点的取組
- ✓ 都市整備の方針
- ✓ 区における自主自立のまちづくり
- ✓ 危機管理
- ✓ 総合計画を推進するために

第1章 互いに認め支え合い、だれもが平等に参画できるまち

多様化する人権課題への対応

SNSの普及に伴う誹謗(ひぼう)・中傷、ヘイトスピーチなど、複雑化・多様化する人権課題に対し、「気づき」や「当事者意識」を磨くことができるような教育・啓発を行います。

✓ 第2次熊本市人権教育・啓発基本計画に基づく、人権教育・啓発の充実

だれもが活躍できる社会環境の整備

だれもが多様性を認め合い、活躍できるまちの実現を目指します。

✓ パートナーシップ宣誓制度の普及・啓発



第2章 安全で心豊かに暮らせる地域づくりの推進



まちづくり支援機能の強化

本庁と区役所が連携し、市民や地域のニーズを市政に反映します。

✓ 地域からの相談・要望への適切な対応

積極的に活用できる地域活動拠点の整備

地域活動拠点の役割、機能を整理し、住民が積極的に活用できる施設とします。

✓ 公設公民館、地域コミュニティセンターなど地域活動拠点施設の在り方検討

地域の防災力や消防体制の強化

自助・共助の強化に加え、広域的な災害対応など消防体制の強化に取り組みます。

✓ 校区防災連絡会などの整備による体制強化や消防の応援及び受援体制の構築



第3章 生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健福祉の充実

生涯を通じた健康づくり

健康づくり活動を継続できる環境づくりに取り組みます。

✓ **健康ポイント事業**

高齢者、障がい者などを地域で支える体制の強化

だれもが地域で豊かに暮らせるよう、地域福祉活動の環境を整備に取り組みます。

✓ **高齢者の自立支援・重度化防止の取組強化や情報のバリアフリー化**

子どもや子育て家庭への支援

児童虐待相談支援体制を強化するとともに、子どもの貧困対策に取り組みます。

✓ **里親委託の推進、放課後学習教室の実施や子ども食堂への支援**

3 すべての人に
健康と福祉を





魅力的な学校づくり

一人ひとりの可能性を広げ、夢の実現につながるような魅力的な学校をつくります。

- ✓ 自ら考え主体的に行動していく力の育成や多様な教育的ニーズに対応した支援の拡充

生涯学習社会の実現

いつでも・どこでも・何度でも学べるような学習機会を提供します。

- ✓ 生涯学習関連施設の機能充実や強化、多様な教育の担い手との連携強化

文化をいかしたまちづくりの推進

地域で守られてきた文化芸術に光をあて、文化をいかしたまちづくりを推進します。

- ✓ 郷土文化財の認定・活用の検討

温室効果ガスの更なる排出削減

脱炭素社会に向けて温室効果ガスの排出削減に貢献します。

- ✓ ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)などによる住宅・建築物のスマート化

国内外へのくまもと水ブランドの発信

熊本地域の地下水保全を進めるとともに、水に関する諸問題の解決に貢献します。

- ✓ 「第4回アジア・太平洋水サミット」の開催

プラスチック問題への対応

海洋へのプラスチックごみの流出など新たな課題に対応します。

- ✓ ワンウェイプラスチックのリデュース促進 ・江津湖などの公共用水域における自然環境への影響調査





地域経済の持続的な発展

復興需要後の経済活動の動向を踏まえ、地域経済の更なる発展に取り組みます。

- ✓ 客観的なデータに基づく効果の高い施策の展開や新たなビジネスモデルの創出

観光客誘致体制の強化

交流人口の増加に向け、「プロモーション」、「受入態勢」の両面から更に強化します。

- ✓ 客観的データに基づく、戦略的な観光客誘致活動と受入態勢の整備

第7章 豊かな自然環境をいかした活力ある農水産業の振興



スマート農業の推進

スマート農業を推進し、新技術の現場への実装を加速させます。

- ✓ 「スマート農業加速化実証プロジェクト」の実施及び成果の横展開

農水産業における国土強靱化

防災・減災に向けた取組や農業基盤整備の要である土地改良区の体制を強化します。

- ✓ 農業用排水施設(排水機場、ため池など)の整備 ・漁港施設の計画的な整備

民間企業や農漁業者との連携による販路開拓・拡大

民間企業や農漁業者との連携など、農水産物などのブランド化・高付加価値化に取り組みます。

- ✓ セミナーやマッチングなどによる販路の開拓、拡大支援



第8章 安全で利便性が高い都市基盤の充実

歩いて楽しめる都市空間の創出

中心市街地の魅力的な空間形成するため、都市デザインを整備します。

- ✓ まちなか再生プロジェクト(容積率割増しなど)・駐車場の適正配置

利便性の高い公共交通体系の確立と利用促進

分かりやすく利便性の高い公共交通体系の確立に取り組みます。

- ✓ バス路線網の再編やバス事業者の事業形態の見直し・広域的な道路ネットワークの強化

災害に強い上下水道の確立と計画的な更新

大規「災害に強い上下水道」を確立するとともに、老朽化施設の計画的な更新に取り組みます。

- ✓ 上下水道の基幹管路の耐震化や応急給水体制の強化、マンホールトイレの整備

